

論文概要

○ 論文題目 糖尿病外来における看護師のための口腔管理支援実践ガイドの
開発

○ 指導教員

人間総合科学研究科看護科学専攻 日高 紀久江 教授

(所属) 筑波大学大学院人間総合科学研究科看護科学専攻(博士後期課程)

(氏名) 工藤 理恵

目 的：

本研究は、糖尿病患者への口腔自己管理教育の普及のために、糖尿病を専門とする外来看護師が、口腔管理に関する十分な知識とスキルを持って効果的な療養支援を実施できるような口腔管理支援実践ガイドを開発し、その有用性を検証することを目的とした。

対象と方法：

対象：質問紙調査：以前に実施した糖尿病外来での2型糖尿病患者の口腔管理に対する日本糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師の取り組みの実態調査の際に参加意思を示した対象候補者のうち、書面にて同意が得られた54名

半構造化面接：糖尿病専門医が勤務する医療施設で糖尿病の外来診療で活動する糖尿病を専門とする看護師4名

方法：糖尿病および歯周病に関するガイドライン、報告書、書籍、先行研究から明らかとなった糖尿病診療における看護師の口腔管理に関する看護活動の実態、口腔管理に関する看護師のニーズと、それに対する支援の有効性や安全性について確立したエビデンスを整理し、糖尿病患者の歯周病予防教育において看護師および糖尿病のケア提供者により実施が期待されている患者支援項目に関して検討した結果をふまえ、ガイドに記載する支援項目を選定してガイド原案を作成した。また原案に対し、歯科医師、糖尿病専門医、糖尿病看護認定看護師、日本糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師、研究者間で検討してガイドの内容を洗練した。さらに、看護師にガイドを糖尿病外来で1か月使用してもらった後に、ガイドの有用性について無記名自記式質問紙調査と半構造化面接を実施した。質問紙で得たデータはすべての変数に記述統計を行い、面接で収集したデータは看護師の言葉を意味のあるまとまりごとに抜き出してデータの意味内容の近親性で項目に分けて記述し、量と質の両側面からガイドの有用性を検証した。検証は、KABモデルの視点から、明確性、実用性、妥当性(Polomano, 2013; 高橋, 2017)を参考にして評価した。

結 果：

質問紙調査：明確性は、70%以上が用語は分かりやすい、ガイドは使用しやすいと評価した一方、より簡潔だとわかりやすい、写真が不鮮明、字が大きい方が良いとの回答を得た。実用性では、《知識の獲得》は、ガイドのすべての項目に対し80%以上の人が理解でき、すべての看護師が知識を獲得できたと評価した。《口腔管理に対する意識》は、質問紙では80%以上の看護師が関心や重要性が高まったと評価した。《ツールとしての活用性》は、「これまで自分が実施してきた口腔管理で不足している点を確認できた」に57.1%が「とてもそう思う」と回答した。《口腔管理の療養指導の実践》は、すべての項目で50%以上の人が「そう思う」と回答した。76.2%が「口腔にかかわる問題を解決するのに役立った」と評価し、看護過程にもたらされた効果では、口腔内の観

察や口腔内の評価を「実施できた」と回答した人はそれぞれ 61.9%、71.4%であった。妥当性については、COVID-19 の感染拡大のもとで感染予防対策を考慮した上であれば、ガイドは糖尿病外来で適用可能であることが確認された。

半構造化面接：知識への効果では、【口腔管理についての学びにつながった】、【OHAT-Jの写真が評価の参考になってよかった】、【OHAT-Jが難しい】、【アセスメントがもっと簡単に評価できると良い】の4項目が抽出された。態度への効果では、【看護師が口腔管理の実践に対して関心を持つことが重要】、【口腔管理を学ぼうと思うきっかけになった】、【これまでの口腔管理の実施に対する反省の思い】、【口腔のことは難しいが管理が必要だと思う】、【もっと口腔管理の声掛けができればよい】、【口腔管理を臨床で実践していきたい】、【ガイドを施設で普及していきたい】、【多職種間での連携が難しい】の8項目が抽出された。行動への効果では、【患者と一緒に口腔内を確認できた】、【口腔管理の問題点の抽出に役立った】、【口腔内のアセスメントを通して患者の口腔の問題に気づけた】、【歯科受診の促しに役立った】、【ガイドの使用前に勉強会が必要】、【口腔管理にかかわる技術の習得が必要】、【口腔管理の具体的な支援方法を知る機会が不足している】、【口腔管理の具体的な支援方法を学ぶ研修の機会が必要】の8項目が抽出された。

考 察：

本結果から、ガイドにより質問紙調査と半構造化面接の両方で共通して、知識の習得、態度の変容、行動の変容への効果が確認された。したがって、本ガイドは糖尿病外来における口腔管理支援の看護実践を促進する上で、看護師の行動変容を促進するための学習を支える重要な意義を持つツールであることがうかがえた。

結 論：

開発した口腔管理支援実践ガイドは、糖尿病外来において看護師が看護実践につなげるうえで一定の有用性をもつ教育ツールである。